

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	通所ひばり		公表日		R8年 3月 6日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・広さは適切。</li> <li>・感染対策時は更にスペースを確保できるようにしている</li> <li>・利用状況によってフロアマットなどの広さの調整を行っている</li> <li>・他児とスペースを開けることで急変時に迅速に対応できている</li> </ul>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準を満たしている</li> <li>・安全面を考慮し必要に応じて応援体制をとっている</li> </ul>	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知の面を考慮し個々の場所は可能な限り同じ場所になっている。</li> <li>・バギー、ベッド、介助歩行等それぞれ過ごせる環境となっている</li> <li>・コード類やテーブルなどの配置には常に気を配っている</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用前後の清掃、環境整備を実施し感染対策を行っている。</li> <li>・季節に応じた壁面やBGMで空間や環境づくりを行っている</li> </ul>	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要時に距離が取れるスペースあり</li> <li>・主にパーテーションを使用し個別の空間を作り、プライバシー保護に努めている</li> <li>・興奮や落ち着かない時、場所を変えスヌーズレン室を利用したり、気持ちの切り替えやリラックスできるようにしている</li> </ul>	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランをもとに実施し評価している。</li> <li>・定期的にミーティングを実施し共通認識を持てるようにしている</li> <li>・不在スタッフがいる場合は記録を残し全スタッフに周知できるようにしている</li> </ul>	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの意見は、その都度職員全員で情報共有し業務改善に努めている</li> </ul>	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談や意見をいつでも話しやすい雰囲気である</li> </ul>	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価は実施していない</li> <li>・併設施設職員を委員とした委員会を定例で開催している</li> </ul>	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に沿って開催され参加している。参加できない時は動画視聴研修を受講している</li> <li>・施設内の研修と外部の研修にも参加できている。</li> </ul>	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPに公表している</li> </ul>	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・6か月毎又必要時アセスメント行い計画作成している</li> <li>・多職種のスタッフで連携し、個々に合う支援計画を作成している</li> </ul>	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援会議で情報共有し検討している</li> <li>・可能な限り全スタッフでミーティングを行い様々な面から意見を出し合い検討している参加できなかったスタッフにも書面で共有している</li> <li>・子どもたちの成長に合わせ個別的に支援できるように検討している。</li> </ul>	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種で意見を出し合い共通認識を図り支援している</li> </ul>	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・対象が重心のみのため個別的にアセスメントしている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインに沿って支援内容を設定している ・個々に合わせて具体的な内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・保育士、支援員が主となり立案し、ミーティング等で全員で検討している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・お集まりなど固定の活動プログラムと季節イベント等を組み合わせたり、内容を変えて活動している ・行事やイベント、毎月の活動についてスタッフ間でアイデアを出し合いながら話し合うことが出来ている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個々の特性やスケジュール等に応じて設定し、状況に応じて集団、個別活動を行っている ・児童の成長や変化に応じて支援計画の修正を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝、スタッフ間で打ち合わせをしチームの連携がスムーズになるように確認し合っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・毎日ではないが気付きなどあった時はスタッフ間で共有するようにしている ・当日又は翌日などに振り返り情報共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・計画に沿った記録を行い評価につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・6か月以内で行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児発管が主として参加。スタッフの意見をまとめて参加している ・報告を受け情報共有している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・医師の指示書をもとに医療的ケアを行っている ・多職種の方々と連携し情報共有することができている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・家族を通して保育園との情報共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・今年度就学児2名あり、情報共有を行った ・対象者がいる場合は行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・児発管が研修会やケース検討会に参加している ・責任者が会議等に参加し情報共有している	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・今回地域の保育園との交流について計画をたてることができた。 ・施設入所児との交流する機会を設けている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時、面談時に行っている ・主に連絡帳を利用しまた、送迎時にも直接保護者の方と話をすることで共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・対象が重症児のため行っていないが必要時個人的に情報提供している。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時、必要時実施している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・送迎時やモニタリングの時間に意向や思いを確認し、計画に取り入れている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・児発管が主に行っている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・常にいつでも相談が出来るような雰囲気や関係作りを心掛けている。助言はスタッフ間で話し合い対応している ・必要時、時間を設け日々の送迎時にも行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・療育参観と共に交流の場を設け実施した ・きょうだい同士での交流については今後の課題	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・他部署の協力も得ながら対応できるように努めている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・通信を年2回発行している ・活動の様子など発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・外部など関係する時は必ず保護者の方に確認している。 ・施設の規定を遵守している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚、触覚など様々な情報手段を利用し、より伝わる工夫を考慮している ・絵のカードや形の違う絵などを使用し児童に合わせた支援をしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・これからの課題である	
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・定期的にマニュアルの見直しを行い訓練を行っている。 ・訓練を行う事で日頃から適切に迅速に対応できるようにしている	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・想定を変えながら行っている ・定期的に避難訓練をスタッフ間で話し合いを行っている ・必要物品、対応、注意点など一覧にまとめている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時確認している ・定期受診後は変更点など情報を確認している ・連絡帳などを利用しながら現在の状況などを常に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者に確認している ・提供時献立と食札で確認している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・面談時行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・医療安全委員会の報告を共有し対策を検討している ・必要時、ミーティングを行っている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・定期的に研修、自己チェック評価を行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・定期的に身体拘束について内容を見直し話し合っている	